

曾根 麻矢子 プロデュース

HAKUJU HALL

チェンバロの庭

- J.S.バッハ：
フランス組曲 第5番 ト長調 BWV 816
トッカータ 第2番 ハ短調 BWV 911
フランス風序曲 ロ短調 BWV 831 (抜粋)
イタリア協奏曲 ヘ長調 BWV 971 (抜粋)
「平均律クラヴィーア曲集 第2巻」より (抜粋)
「イギリス組曲」より (抜粋)

● フローベルガー：トッカータ

● ラモー：歌劇「優雅なインド人」より“序曲” 他

チケットお申し込み

Hakuju Hallチケットセンター

03-5478-8700 10:00~18:00
(火~土※祝日・休館日を除く)

オンラインチケット予約 <http://www.hakujuhall.jp/>

ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード:34551)

イープラス <http://eplus.jp/hakuju/>

DM会員先行発売日：2018年11月17日(土)

一般発売日：2018年11月24日(土)

主催：Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所

チェンバロの貴婦人とコンサートソムリエのバロック・サロン

vol.3 〈バッハの庭〉

チェンバリスト・曾根麻矢子が、現代の名工デヴィット・レイ製作のフランス式2段鍵盤チェンバロ(クラヴサン)を携え、ナビゲーターの朝岡聡とともに、楽しくわかりやすくバロック音楽の世界に皆様を誘います。最終回は偉大なるバッハの作品を庭に見立てて、その魅力を味わいます。

2019年3月28日(木)

19:00開演 (18:30開場)

全席指定：4,500円(税込)

Hakuju Hall

曾根 麻矢子
(チェンバロ)
Mayako Sone,
cembalo

朝岡 聡
(ナビゲーター)

Satoshi Asaoka,
navigator



曾根 麻矢子プロデュース

チェンバロの庭

vol.3〈バッハの庭〉

チェンバロの貴婦人とコンサートソムリエのバロック・サロン

いよいよ最終回になりました。もう3年が過ぎようとしています…
ハクジュホールの素敵な空間と豊かな響きにびったりな私のチェンバロ。
このシリーズはそこからスタートしました。
自分ひとりで創り出すプログラムとは異なり、朝岡さんとのプロジェクトはひとひねりが特長です。たとえば私がチェンバロを弾いているうしろの大スクリーンに、曲のイメージが膨らむような絵画をご覧いただいたり…。そして、本番での朝岡さんとのマイクを通したやり取りは「初心者にもわかりやすい」「タイムトリップした気分になる」「ヨーロッパを旅したみたい」など、ご好評いただいています。
最終回のテーマは「バッハ」です。
バッハが自分のものにしたイタリアやフランスのスタイルや、宮廷の優雅なダンスが、ダンスを伴わない舞曲として洗練された様子を、判りやすく比較、解説いたします。
皆様にバッハを、そしてチェンバロを満喫していただけるよう、創り上げてまいります。
シンプルに、このチェンバロの音をハクジュホールで聴いて欲しい…との願いを込めて。

曾根 麻矢子

デヴィッド・レイ製作 ニコラ・フランシェ 1722モデル



曾根 麻矢子 (チェンバロ)

Mayako Sone, cembalo

東京生まれ。桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」を経て、桐朋学園大学附属高校ピアノ科卒業。ピアノを寺西昭子、チェンバロを鍋島元子の各氏に師事。高校在学中にチェンバロと出会い1983年より通奏低音奏者としての活動を開始。86年ブルージュ国際チェンバロ・コンクールに入賞。その後、渡欧を重ねて同コンクールの審査員であった故スコット・ロスに指導を受け、90年より正式にパリに拠点を移す。故スコット・ロスの夭逝後、エラート・レーベル(フランス)の名プロデューサー、ミシェル・ガルサンにスコット・ロスの衣鉢を継ぐ奏者と認められ、91年にはエラート・レーベル初の日本人アーティストとしてCDデビューを果たす。92年以降、イスラエル室内オーケストラの専属チェンバロ奏者としての演奏旅行、フランス、イタリア等のフェスティバル参加など国際的に活躍している。また、サンチャゴ・サンペレ(現代舞踊家)とのコラボレーションをパリと東京で開催し、その意欲的内容が好評を博した。2006年にはラジオ・フランス(フランス国営放送)で3時間に及ぶ曾根の特集が組まれている。日本国内でもリサイタル、室内楽と積極的に活動し、その活動は常に注目を集めている。さらに、音楽活動とともにテレビ、ラジオへの出演、雑誌「DIME」でのエッセイ連載、「いきなりバリジェンヌ」(小学館刊)の刊行など多才ぶりを見せている。録音活動も活発に行い、デビュー CD「J.S.バッハ:イギリス組曲」リリース以後、「J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲」、「情熱のファンダンゴ」、「シネマ・チェンバロ」、「ジュ・レーム」、「J.S.バッハ:フランス組曲」、「J.S.バッハ:トッカータ」、「ラティーナ」、「シャコンヌ」と定期的にCDをリリースし続けている。とりわけ、「情熱のファンダンゴ」は、故スコット・ロスの偉業「スカルラッティ:ソナタ大全集」の遺志を継ぐ追加録音として大きな話題を集めた。03年より09年まで東京・浜離宮朝日ホールにて、6年間計12回にわたるJ.S.バッハ連続演奏会を行い、並行して「イギリス組曲」、「フランス組曲」の各全曲盤と「イタリア協奏曲、フランス風序曲」、「平均律クラヴィア曲集第1巻」(第20回ミュージック・ベンクラブ音楽賞オーディオ部門最優秀録音賞受賞)をエイベックス・クラシックスよりリリース。10年から14年まで東京・上野学園エオリアンホールにて、全12回のケープランとラモーのチェンバロ作品の全曲演奏会を行い、好評を博した。現在、演奏活動の傍ら、鬼オスキップ・センベの元で研鑽を積んでいる。96年「第6回出光音楽賞」をチェンバロ奏者として初めて受賞。97年飛騨古川音楽大賞奨励賞を受賞。11年よりスタートした「チェンバロ・フェスティバルin東京」音楽監督。上野学園大学特任教授。

曾根 麻矢子 オフィシャル・ウェブサイト <http://mayakosone.com/>

朝岡 聡 (ナビゲーター)

Satoshi Asaoka, navigator

テレビ朝日のアナウンサーとして「ニュースステーション」「はなきんデータランド」プロ野球中継などで活躍。フリーになってからはテレビ・ラジオ・CMの他、クラシックコンサートの司会や企画にもフィールドを広げ、興味深い視点を分かりやすく軽妙洒脱に説明するステージワークは、音楽ファンの裾野を広げる「コンサートソムリエ」として信頼と注目を集めている。国内外のオーケストラや演奏家とコンサート共演多数のほか、バロック音楽やオペラではユニークな著作と評論も手がける。著書に「笛の楽園」(東京書籍)、「いぞぞ!オペラな街」(小学館)、「恋とはどんなものかしら」(東京新聞)。リコーターを大竹尚之、吉澤実の両氏に師事。日本ロッシーニ協会副会長。



DM会員募集中

年2回のDM案内、先行予約、先行予約時の割引。ご登録・会費はいっさい無料です。ご登録・詳細はホールHPまたはチケットセンターお電話まで。

- * 最後列Q列はリクライニング席となります(チケット料金は変わりません)。
- * 出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- * 出演者・曲目の変更に伴うチケットの払い戻しはいたしません。
- * 一度お求めいただいたチケットの変更、キャンセルはできません。
- * 未就学児の入場はご遠慮ください。
- * 車椅子でご来場のお客様はあらかじめHakuju Hallまでご連絡ください。
- * ホールには駐車場はございません。

HAKUJU

株式会社白寿生科学研究所は、音楽を通じて「ゆとりある精神」を実現する場を提供いたします

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5 Tel 03-5478-8867

最寄駅:代々木公園駅(千代田線)徒歩5分 代々木八幡駅(小田急線)徒歩5分

バス:富ヶ谷バス停下車 徒歩1分 渋谷駅西口バスターミナルより10分

※渋谷61(初台行)、渋谷63(中野行)、渋谷64(中野行)、渋谷66(阿佐ヶ谷行)、渋谷69(笹塚循環)

ハクジュホール

検索